

## 急性心筋梗塞を対象とした Muse 細胞製品 (CL2020) の 探索的臨床試験に関する論文掲載のお知らせ

株式会社生命科学インスティテュート

株式会社生命科学インスティテュート（本社 東京都千代田区、社長 木曾誠一、以下「当社」）が岐阜大学医学部附属病院他にて2018年1月から実施しておりました、ヒトでの最初の Muse 細胞製品 (CL2020) の治験である急性心筋梗塞患者を対象とした探索的臨床試験に関する論文が、一般社団法人 日本循環器学会の発行する学術誌である *Circulation Journal* の電子版に掲載されましたので、お知らせします。

本試験では、カテーテル治療を行っても心機能が十分に改善されない急性心筋梗塞患者を対象に、CL2020 を静脈内に単回投与した際の安全性、忍容性及び有効性について検討しました。その結果、主要評価項目である CL2020 投与後 12 週までの安全性について、特に問題は認められず、また、副次的評価項目である有効性については、心機能の指標の一つである左室駆出率に顕著な改善が認められています。

論文の詳細については *Circulation Journal* 電子版をご覧ください。

[https://www.jstage.jst.go.jp/article/circj/84/7/84\\_CJ-20-0307/\\_article/-char/en](https://www.jstage.jst.go.jp/article/circj/84/7/84_CJ-20-0307/_article/-char/en)

当社は、今回の試験で、CL2020 は当該患者の心機能を顕著に改善したことから、標準治療では十分な効果を得られない心筋梗塞の患者さんに対して、新たな治療方法を提供できる可能性があるものと考えています。

当社では、今回の探索的臨床試験の成績をもとに、急性心筋梗塞患者を対象とした CL2020 の検証的臨床試験を2019年12月より実施しています。

今後も、当社は Muse 細胞製品をはじめとして次世代に向けたヘルスケア事業を展開することで、世界中の人々の健康・医療に貢献し、人々が健康で安心な社会、“KAITEKI”の実現を目指します。

以上

### 【Muse 細胞】

2010年に東北大学の出澤真理教授のグループによって発見された Muse 細胞 (Multilineage-differentiating Stress Enduring cells) は、体内で様々な種類の細胞に分化することができ、腫瘍化のリスクが非常に低い新しいタイプの多能性幹細胞です。Muse 細胞は末梢血や骨髄、および各臓器の結合組織中に分布している内因性の修復幹細胞で、遺伝子の導入や事前に分化誘導したり、外科手術で細胞を移植したりする必要もなく、そのまま静脈内に投与するだけで損傷部位に集積し、そこに生着して組織を修復するという特徴を有しています。

[本件に関するお問い合わせ先]

株式会社生命科学インスティテュート 経営企画部 広報担当： TEL 050-3188-2753  
株式会社三菱ケミカルホールディングス 広報・IR室： TEL 03-6748-7140